

NO, 砂丘地砂防林環境整備推進協議会 地域(庄内)



活動地

北は月光川から南は日向川までの、おおよそ 12 km の砂丘地砂防林内

団体紹介

設立年月：平成9年11月（1997年）

設立の目的：先人が苦勞して植林したクロマツ林が荒廢してきているため、地域住民、子ども達と一緒に保全する目的で設立した。

組織の構成：稲川・西遊佐・高瀬地区の33集落、町議会議員、農業生産組合、農業委員、森林組合、JA庄内みどり、地域住民代表、まちづくりセンター（稲川・西遊佐）で構成している。

活動内容

I 後継者を育てる為の活動

1、学校での児童・生徒に対するクロマツ保全の講話



（高瀬小4年生への講話）



（遊佐中1年生への講話）



（藤蔵家での学習）

毎年、事業を行う前に小学校に出向いて4年生に先人の苦勞と歴史を講話している。昨年度から中学生の1年生にも講話を行った。また、藤崎小4年生には野外学習も実施した。

2、現場での体験を通しての育成



（藤崎小4年生の枝打ち体験）



（藤崎小・高瀬小4年生による植栽体験）

地域住民の協力を得て、枝打ち（5月19日）・クロマツ苗の植栽（11月11日）を毎年行っている。

II、地域住民ボランティアによる保全活動



（防風柵の設置）



（マダラカミキリムシの発生観察箱の設置）



（クロマツ林の下草刈り）

活動を行っての感想

我が組織は、ハードの面の活動がメインであり、地域住民の協力なしでは保全活動は困難である。そのためにも、みどり環境税を有効に活用したい。